YG-384「取扱説明書」改訂表

この度は、携帯電話機用拡声アダプターYG-384をお買い求め頂き、誠にありがとうございます。
本製品の機能改善を行いましたので、本編取扱説明書の記載内容を一部改訂させて頂きます。
お手数ですが、以下の内容に変更してお読みくださるよう、お願いいたします。

項目	４ページ、本機の概要
改訂前	●付属の変換アダプタは、携帯電話機の平型端子に対応しています。 ●本機は４極用ミニプラグの携帯電話機にも対応しています。（３極用ミニプラグでのご使用については、弊社顧客サービスセンターまでお問合せ下さい。）
改訂後	●本機は平型端子の携帯電話機に対応しています。（３極用ミニプラグ及び４極用ミニプラグでのご使用については、弊社顧客サービスセンターまでお問合せ下さい。）

項目	６ページ、接続方法
改訂前	２．付属の４極用プラグ付コードのミニプラグを変換アダプタに接続し、変換アダプタの平型プラグを携帯電話機の平型端子に接続してください。（４極用ミニプラグの携帯電話機にも対応しています。） ３．ミニプラグの反対側のモジュラープラグを本体に接続してください。
改訂後	２．付属の平型プラグ付コードを携帯電話機の平型端子に接続してください。 ３．平型プラグの反対側のモジュラープラグを本体に接続してください。

項目	８ページ、使用上の注意
改訂前	４．携帯電話機と接続するコード（イヤホンマイク端子と接続）のプラグには平型プラグと４極用ミニプラグの２種類があります。お使いの携帯電話機に合うプラグをご確認の上、使用して下さい。（３極用ミニプラグでのご使用については、弊社顧客サービスセンターまでお問合せ下さい。） （図：変換アダプタ／YG-384／4極用プラグ）
改訂後	４．携帯電話機と接続するコード（イヤホンマイク端子と接続）は平型プラグになります。お使いの携帯電話機が平型コネクタでなければご使用できません。（３極用もしくは４極用ミニプラグでのご使用については、弊社顧客サービスセンターまでお問合せ下さい。） （図：平型プラグ／YG-384）

項目	１１ページ、仕様
改訂前	付属品　４極プラグ付きコード　１本 ４極／平型プラグ　変換アダプタ　１個
改訂後	付属品　平型プラグ付きコード　１本

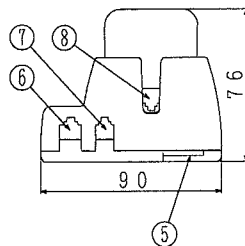
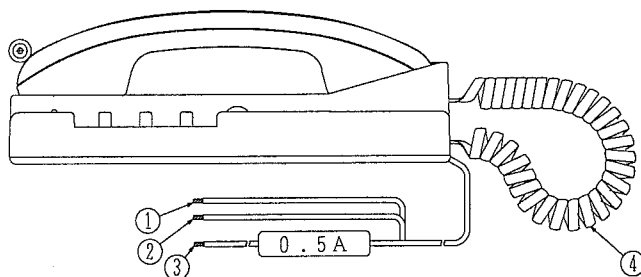
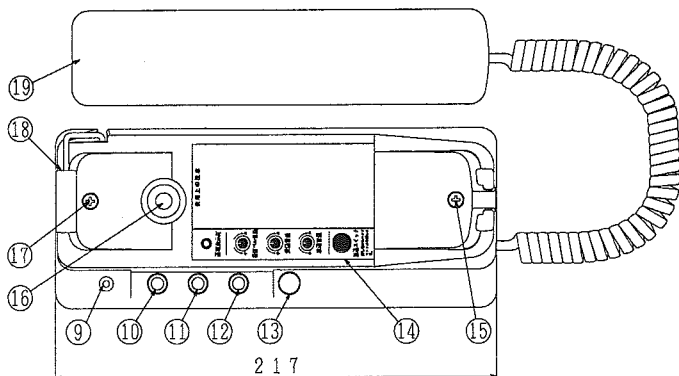
携帯電話機用拡声アダプター

YG－384

取扱説明書

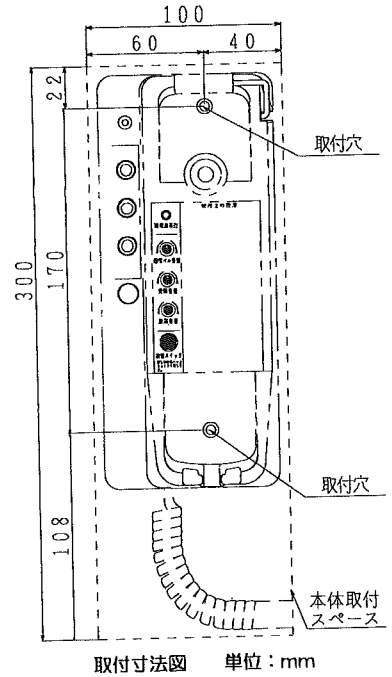
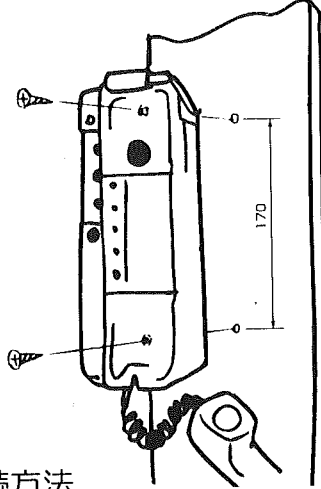
この度は、ノボルYG-384をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、必ず大切に保管してください。

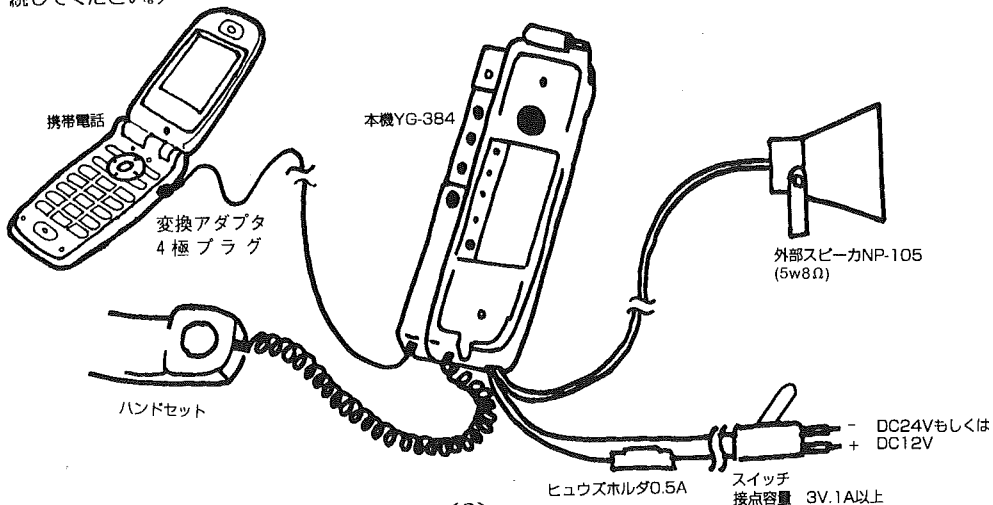
●目次

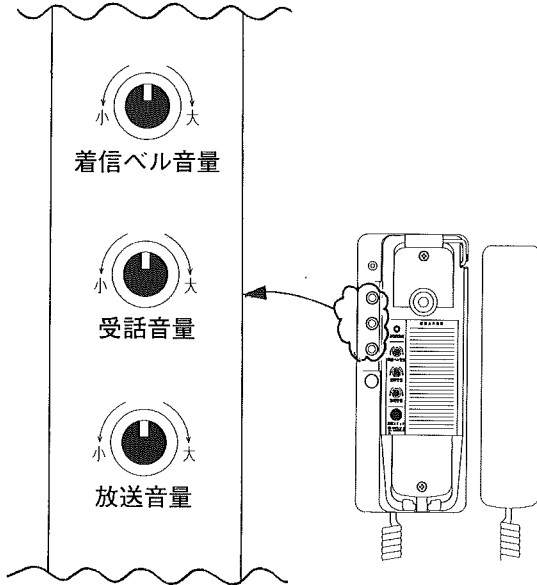
■各部の名称及び外形寸法

①	スピーカ線（灰、平行線）	⑪	受話音量調節器
②	電源－（黒）	⑫	放送音量調節器
③	電源＋（赤、ヒューズホルダー付き）	⑬	放送スイッチ
④	カールコード	⑭	注意メイバン
⑤	各コード引き出し口	⑮	取付ネジ
⑥	プラグ付コード接続口（携帯電話機と接続）	⑯	通話入／切スイッチ
⑦	カールコード接続口（本体側）	⑰	取付ネジ
⑧	カールコード接続口（ハンドセット側）	⑱	ハンドセットストッパー
⑨	電源表示灯	⑲	ハンドセット
⑩	着信ベル音量調節器		

■取付方法

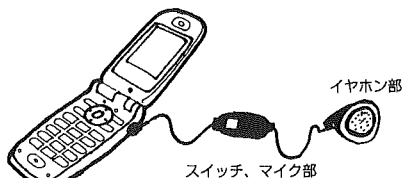
1. 携帯電話機の近く（１ｍ位）に取付けスペースとして縦３００mm、横１００mm程度を準備してください。
2. 下図に示す寸法で壁面等に付属のネジで固定してください。
3. 本機がしっかりと固定されていることを確認してください。

取付寸法図　　単位：mm

■接続方法

1. 着信音、放送、受話の各音量調節器が最小になっていることを確認してください。
2. 付属の４極用プラグ付コードのミニプラグを変換アダプタに接続し、変換アダプタの平型プラグを携帯電話機の平型端子に接続してください。（４極用ミニプラグの携帯電話機にも対応しています。）
3. ミニプラグの反対側のモジュラープラグを本体に接続してください。
4. 電源コード、スピーカ線をそれぞれ電源、スピーカに接続してください。（電源コードはスイッチを介して接続してください。）

■音量調節

1. 着信音量、受話音量、放送音量のそれぞれツマミをまわして、（時計回りにまわすと大きくなり、反時計回りにまわすと小さくなります。）適当な音量に調節してください。

2. ハウリングが起きる場合は、音量を小さくするか、スピーカの向きを変えるなどしてハウリングしないように調節してください。

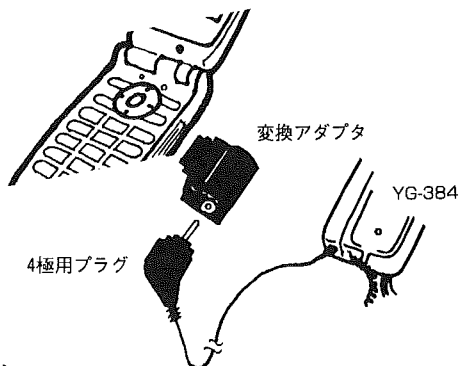
■使用上の注意

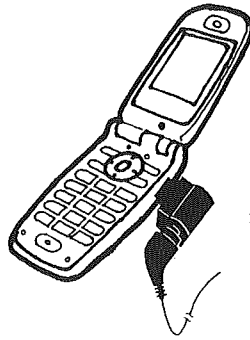
1. 携帯電話機オプションのスイッチ付きイヤホンマイクが使えない携帯電話機では、本機の通話入／切機能はご使用になれません。その場合は携帯電話機側での通話の入／切操作を行なってください。

※携帯電話オプションのスイッチ付きイヤホンマイクが使えないと通話入／切り機能は使えません。

2. 携帯電話機の中にはオプションのスイッチ付きイヤホンマイクのスイッチを押すと、ある特定の短縮番号に登録している電話番号に、ワンタッチでかけることができるという機能のついたものがあります。その特定の番号に電話番号を登録していますと、本機の通話入／切スイッチ作動時に誤ってその電話番号にかかることがありますので、その特定の短縮番号に登録されている電話番号を別の短縮登録番号に変更してください。(もし、電話をお掛けになる場所が一個所と限定されているのでしたら、その特定の番号に登録しておくと、ハンドセットを持ち上げるだけで電話を掛ける事ができます。)

※誤ってダイヤルしないように別の番号に登録しなおして下さい。

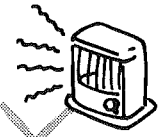
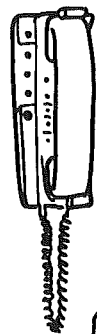
3. 本機を接続したまま電話をお掛けになる場合は、本機のハンドセットを先に持ち上げてから、携帯電話機側で通常の発信操作を行なってください。(先に携帯電話機側で発信操作を行なってからハンドセットを持ち上げると、通話入／切スイッチがはたらいて、発信状態が切れ、電話がつながりません。)電話を切られる場合は、ハンドセットを元に戻すことで切れます。

4. 携帯電話機と接続するコード（イヤホンマイク端子と接続）のプラグには平型プラグと、4極用ミニプラグの2種類があります。お使いの携帯電話機に合うプラグをご確認の上、使用してください。(3極用ミニプラグでのご使用については、弊社顧客サービスセンターまでお問合せ下さい。)

※上記注意事項については、携帯電話機の取扱説明書の関連事項を必ずお読みください。

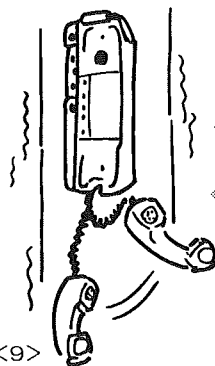
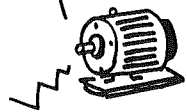
5. 携帯電話機と接続するコードのプラグは本機にしっかりと差し込んでください。差し込み具合が悪いと通話ができなかったり、エコー（自分のしゃべった声が電話機の送話口から少し遅れて戻ってくる現象。通話相手方にも起こります。）が起こり、通話しにくくなったりすることがあります。

6. ハンドセットはケースにしっかり固定してください。通話入／切スイッチが動作しないことがあります。また、ケースに固定する時は送話口側からケースにはめ込んでください。

7. 無線機のアンテナから本機及び入力コード、電源コード、スピーカコードをできるだけ離して使用してください。無線混入防止に効果があります。

8. 本機は室内に設置し、油煙、湯気、雨、海水が直接かからないようにしてください。また潮風にもできるだけ当たらないようにしてください。

9. 長時間使用しない場合は、電源コードを電源から外してください。

10. お手入れをされる時は乾いた布か、水や台所洗剤を少し含んだ布で拭いてください。シンナーやベンジンなどは使用しないでください。

11. ストーブなど熱器具の近くに置かないでください。

12. 振動が著しく激しい場所への設置は避けてください。

13. 放送機能をご利用時、ハウリング（スピーカからキーンと音がする）を起こす場合があります。この時はスピーカの向きを変えるか、音量を下げてハウリングしないようにしてください。

■使用方法

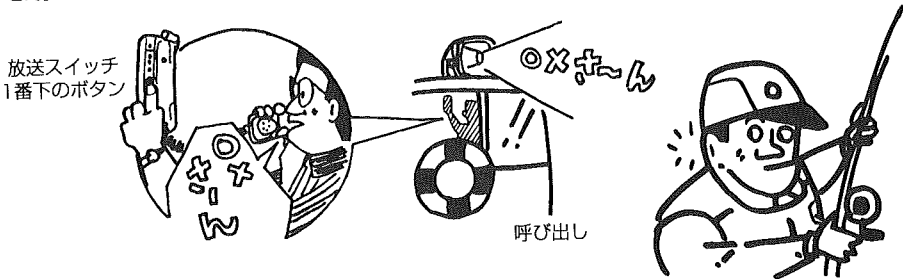
1．電話を受ける場合

携帯電話機に電話がかかると本機を介してスピーカから着信音がなります。本機のハンドセットを持ち上げると自動的に携帯電話機が通話状態になり通話が開始されます。（ハンドセットを持ち上げるとスピーカはなり止みます。）通話を終了する時は、ハンドセットを本体に戻してください。自動的に携帯電話機は切れます。

着信　　通話　　終了

2．呼び出し放送を行なう場合

本機の放送スイッチを押しながらハンドセットより話してください。スピーカから呼び出し放送ができます。携帯電話機にて通話中でも呼び出し放送をする事ができます。この場合、通話相手には、放送内容は聞こえません。

呼び出し

3．電話をかける場合

本機からハンドセットを持ち上げます。その後、携帯電話機側で通常の電話をかける操作を行ないます。（必ず、先に本機からハンドセットを持ち上げてください。先に携帯電話機で操作してからハンドセットを持ち上げると電話が切れます。）通話を終了する場合は、ハンドセットを本体に戻してください。自動的に携帯電話機は切れます。

ダイヤル　　通話　　終了

*電源コード、スピーカコード引き出し口の部分は本体から取外すことができるようになっています。

■故障かな？

機器の調子がおかしい時、案外簡単なことが原因になっている場合が多いものです。
修理を依頼される前に、もう一度チェックしてみましょう。

症状	点検項目	処置
音が出ない または 音が途切れる	● 電源コードが電源から外れていませんか。 ● ボリュームが最小にはなっていませんか。 ● プラグ類はしっかりと接続されていますか。 ● 指定外の電源を使っていませんか。 ● 入力プラグは汚れていませんか。 ● 線が外れている、またはショートしていませんか。	● 接続してください。 ● 適当な音量に調節してください。 ● 接続してください。 ● DC24VもしくはDC12Vの電源を使用してください。 ● アルコールなどで拭いてください。 ● 正しく接続してください。
エコーがかかる	● 携帯電話機と接続しているコードのプラグはしっかりと接続されていますか。 ● 正しい接続コードをお使いですか。	● 奥までしっかりと差込んでください。 ● 携帯電話機に合ったコードをお使いください。
ハンドセットを上げても通話ができない	● スイッチ付きイヤホンマイクが使用できる携帯電話機を使用されていますか。 ● 正しい接続コードをお使いですか。	● スイッチ付きイヤホンマイクが使用できる携帯電話機で無いとハンドセットを上げても通話することが出来ません。 ● 携帯電話機にあったコードをお使いください。
雑音が出る	● 近くにノイズ源はありませんか。 ● 入力プラグはしっかりと接続されていますか。	● ノイズ源を遠ざけてください。 ● 確実に接続してください。
音が歪む	● ボリュームを上げすぎていませんか。 ● 指定外の電源を使っていませんか。	● 適当な音量に調節してください。 ● DC24VもしくはDC12Vの電源を使用してください。

■仕　様

項目	内容
公称バッテリー電圧	DC24V　または　DC12V
使用電圧範囲	DC10　～　30V
定格出力	5W（負荷8Ω、試験電圧DC28．0V） （1．25W、負荷8Ω、試験電圧DC14．0V）
適合負荷インピーダンス	8Ω
無信号時消費電流	60mA（試験電圧DC28．0V）
定格出力時消費電流	400mA（試験電圧DC28．0V）
入力回路	携帯電話　入力感度　77．5mV 入力インピーダンス　32Ω ハンドセット　入力感度　19mV 入力インピーダンス　1kΩ±30%
周波数特性	300Hz　～　5kHz　偏差−3dB±1．5dB（放送時）
使用温度範囲	−10℃　～　+50℃
外形寸法	縦217　×　横90　×　高さ76（mm）
質量	540　±　30g
外郭材質	本体：ASA（耐候性樹脂）　色調　ライトグレー ハンドセット：ABS　色調　アイボリーホワイト
付属品	4極プラグ付きコード　1本 4極／平型プラグ　変換アダプタ　1個 ヒューズ（0．5A）　1個 タッピングネジ（SUS）4×30mm　2個